



クラブ訪問

243

「人として成長することを目標に」

下総剣友会

私たち下総剣友会は、小学2年生～中学3年生の計15人で、毎週水・土曜日に下総みどり学園の剣道場で活動しています。稽古は正面打ちと左右打ちを組み合わせた切り返しという基本動作の練習や、先生を相手に打ち込みをする掛かり稽古などを行います。

クラブの合言葉は「明るく優しく元気良く」。剣道の「一」の字には技術を磨くだけでなく人



声を出して果敢に攻める



姿勢を意識して打ち込み練習



ほりこし しゅんどう
堀越 舜童 主将(6年生)

兄が真剣に剣道をする姿に憧れて小学1年生から始めました。体格差がある相手と戦うことが多いので1本を取れたときはとてもうれしいです。

としての成長を目指すという意味があり、先生からはいつも「良い言葉を使うことで人として成長できる」と言われています。先生が私たちの長所を見つけて褒めてくれたり、中学生が丁寧に教えてくれたりするので、私たちが前向きで優しい言葉を使うことを特に意識しています。そうすることで思い通りにいかないことがあっても、何事にも前向きな気持ちで取り組むことができるようになります。また、礼儀作法をしっかりと身に付けていることも、このクラブの特長です。練習で教わったことが身に付いているので、日常生活でも明るく元気にあいさつや返事ができています。剣道の階級を決める級審査では技術面だけでなく礼儀作法や精神面なども審査の対象になります。メンバー全員で前向きな言葉を使って励まし合い、自信を持って頑張りたいです。

なかまと一緒に

241

「自由に味のある作品を」

絵手紙サークルさくら



合言葉は「下手でいい・下手がいい」



よく観察しながら



お互いの作品を褒め合う

私たち「絵手紙サークルさくら」は毎月第3火曜日に中央公民館で活動しているサークルです。以前は先生もいましたが、現在はベテランメンバーのみで活動しています。

絵手紙は描きたい物の輪郭を筆で描き、顔彩さいと呼ばれる固形の絵の具で色を付け、最後に言葉ことばを添えていくのが基本的な手順。しかし、私たちのサークルはみんな絵手紙制作の経験が5年以上あり、基本的な知識を身に付けた上で独自の描き方が確立されているので、細かい手順などにはこだわりません。筆だけでなくペンも使ったり、固形の絵の具だけでなく水彩絵の具も使ったりしながら、自由に作品を描いています。また、夏には扇子やうちわに絵を描くなど、絵手紙以外の作品づくりも行っています。

絵のモチーフとなる物は植物や食べ物、人形などさまざまで、その中でも季節に合った物を取り入れるようにしています。家の庭や畑から、その時期ならではの花や野菜を用意するなど、各自が好きな物を持ち寄ります。

約2時間の活動の中で、毎回2・3枚の絵手紙を描き、最後は全員の作品を並べて感想を言い合います。「下手でいい・下手がいい」をモットーに活動している私たちのサークルでは褒めることしかしません。

夏にかけてのこれからの時期は、モチーフとなる植物などが多く、一年の中で最も絵手紙の制作に適した時期になります。毎回メンバーからもらうコメントを糧に、これからも私たちがらしく自由に、味のある作品を描いていきたいです。

スクスクのびのび



のひら かえで
野平 夏楓ちゃん

プリンセスが大好きな女の子です！



たかはし はると ひなた
高橋 陽斗くん・日向くん

とっても仲良しで、お互いの顔を見てよく笑い合っています。

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

○応募方法 お子さんの写真・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・性別、親の名前、電話番号、30字程度のコメントを郵送またはEメールで広報課へ

○応募先 〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
koho@city.narita.chiba.jp (写真データはJPEGで容量1MB以上で送ってください)

○問い合わせ先 広報課 ☎20-1503

505